

# 夏休みを楽しく過ごすために

## 交通事故・水の事故を防ごう

もうすぐ夏休み——子供たちは家の中にじっとしてられません。ふだんに比べて、外で遊ぶ時間が長くなりま  
す。そこで心配となるのが、交通事故と水の事故です。夏休みを楽しく過ごすために、注意すべき点を親子で話し合ってみてはいかがでしょうか。

### 交通事故の防止

子供の交通事故原因で一番多いのは「飛び出し」で、6割を占めます。次いで「自動車の直前直後の横断」、「信号無視」、「路上遊戯」の順となっています。お子さんには、次のようなことを教えてあげてください。

#### ① 飛び出すな

広い道は自動車がたくさん通ります。細い道から広い通行に出る時は、自動車が来ていないかよく確かめましょう。

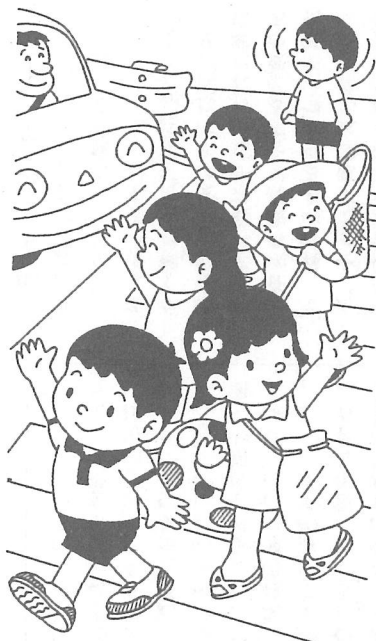
① 手前で必ず立ち止まる

#### ② 運転手さんの目を見る

目の前の信号は赤から青に変わりました。さあ渡りましょう。でも気をつけてください。右や左に曲がる車が、あなたの渡ろうとする横断歩道を通ることもあるのです。運転手さんの目を見て、車が止まったのを確かめながら渡りましょう。

#### ③ 信号の意味を知ろう

道を渡ろうとしたら、信号が黄色になったら、信号が赤な時は渡ってはいけません。次の青信号まで待ちましょう。ついたり消えたりしている青



### 中学生以下の死亡者数

原因	水	死	交通事故死
月		人	人
6月	71		64
7月	123		71
8月	164		103

(警察庁調べ)

左の表は、昨年6月から8月までに水死した子供(中学生以下)の数と、同じ時期に交通事故で亡くなった子供の数です。

これを見ると、水死が交通事故死の約1.5倍と、大きく上回っているのがわかります。

子供の水難事故の6割は、保護者がそばにいない時に起こっています。夏の間は、子供の水の事故に十分注意しましょう。

### 子供の水の事故



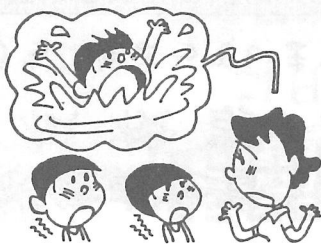
信号や黄色の信号は「注意」の意味。赤に変わりますよ注意してください」ということです。

## 6.7.8月は交通事故より怖い

### 【保護者の方へ】

子供を水の事故から守るため、次の点に注意しましょう。

- ▶子供たちだけで水泳や水遊びに行かせない。保護者や大人が必ず同伴する。
- ▶雨で川や用排水路が増水している時は、子供たちを近づけないようにする。
- ▶子供たちが水辺で遊んでいたら、声をかけ、安全な場所で遊ばせるようにする。



#### ④ 自動車は後ろにも動く

道路や空き地に自動車が止まっていることがあります。その周りで遊ぶことはありませんか。自動車の後ろにしゃがみ込んでいると、運転手さんにも分かりません。自動車は後ろにも動くこともあり、とても危険です。